



スーパープロの最終モデル。大きな扇形ダイヤルと素晴らしいタッチのチューニング・ツマミ。JX-17 独特の赤いツマミは印象的

## Feature

ターレット方式によるコイル切り替えを採用したフロントエンドによる広帯域受信、大型フライ・ホイールによるスムーズなメイン・ダイヤル・タッチは素晴らしく特筆に値する。VLFからVHFまでカバーするバージョンの多さなどの素晴らしい機能を備えたエポック・メイキングな名機。“スーパープロ”はSP-10に始まりSP-110、SP-200、SP-400とSP-600に至るまで続く。SP-600/SX-73/HRO-60は各受信機ともそれぞれ特徴を持ちながら、いずれも甲乙つけがたい名機揃い。「三機種揃い踏み」も夢の一つかも。

## Specifications

機種名	SP-600
メーカー	HAMMARLUND
製造年	1951-1972年
バンド	0.54-1.35/1.35-3.45/3.45-7.4/7.4-14.8/ 14.8-29.7/29.7-54Mc 6BAND
形式	Single/Dual Conv
中間周波数	3955kc/455kc
フィルタ	0.2/0.5/1.3/3/8/13kc
真空管数	20本、MT管
備考	重量30kg、バンド・スプレッド・ダイヤル付き(100度)

## 1. はじめに

1951-1952年に発表された51J-3/R-390/HRO-60/SP-600/SX-73グループは、軍用、プレス、在外公館などの広範囲に使用された機種です。

これらの機器は稀少品としての価値ではなく、プロ用として設計されたために感度、安定度、選択度などが高性能であるとともに、信頼度も非常に高く、長期間にわたり使用された実績なども加わり、高い評価を得ています。

とくにアナログ方式で、ターレット・コイル切替式フロントエンドによる広帯域受信、大型フライ・ホイールによるスムーズなメイン・ダイヤル、VLFからVHFまでカバーするバージョンの多さなどの素晴らしい機能を備えたエポック・メイキングな名機です。

また、使用されている材料も非常に高品位なものであるため、メンテナンスを行うことに